



令和2年1月6日 大ホールにおいて。

私たちの理念

心が通い、信頼される医療

私たちのめざす医療

1. 皆さまの権利とプライバシーを尊重します。
2. 十分な説明と同意のもとに、最新かつ安全なチーム医療を行います。
3. 地域に開かれた病院として、健康と福祉の向上に努めます。
4. 確かな医療技術と豊かな人間性を備えた医療人を育てます。

Kurume University Medical Center
久留米大学医療センター

〒839-0863 福岡県久留米市国分町 155-1

 **0942-22-6111 (代)**
<http://iryu.kurume-u.ac.jp>

Contents

新年のご挨拶 (病院長、事務部長、看護部長)

院内 WiFi 整備、著書紹介

転倒予防川柳

院内コンサート、新任医師紹介、「チャレンジ!レシピコンクール」入賞!!

外来診療一覧、編集後記

地域に根付いた「特色ある大学付属病院」を目指して

病院長 大川 孝浩



新年を迎え、ご挨拶申し上げます。

2025年、もう間もない近未来に超高齢社会が日本に到来することが確実視されています。対応するための医療政策として地域包括ケアシステムならびに地域医療構想を中心とした方針が打ち出され、いずれも多職種連携と医療連携の推進なくしては決して成り立つシステムではありません。大学付属病院としても、今後益々、診療区分の分化と地域医療連携部門における業務の関わりが重要視されてくるはずです。

昨年、久留米大学医療センターとして開院25周年を迎えました。開設以来、「心が通い、信頼される医療」を理念に、地域の中核病院として愛され信頼される病院を目指し、患者さん中心の医療を根本として実践してきました。診療は「チーム 医療センター」で取り組み、多職種のスタッフが協働し、外来受診や入院の患者さんが安心を享受できる質の高いチーム医療の提供を心がけています。

今後さらに、新専門医制度による中核病院への医師配分や働き方改革など、より一層、病院をとりまく様々な問題や変革の到来と、改革の必要性が求められること予想される中、地域に根付いた「特色ある大学付属病院」として、地域や社会のニーズにあった診療の提供、社会貢献に努めてまいります。皆様におかれましては、今後ともご協力とご理解を賜りますとともに、ご指導ご鞭撻の程をよろしくお願い申し上げます。

安心・安全の医療を提供するために～ワン・チームの精神で

事務部長 林田 俊彦



謹んで新春のお慶びを申し上げます。

日ごろより、地域の医療機関の諸先生の皆様には久留米大学医療センター（以下、医療センターと略）へのご紹介を賜り、さらには地域住民の皆様には医療センターへのご理解、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年はワールドカップラグビーで日本が大健闘をしました。その際、「ワン・チーム」の精神がこの快進撃を支えた言葉として紹介されました。日本のみならず、様々な背景を持つ外国出身の選手がひとつにまとまって、この言葉を合言葉にベスト8まで進出しました。

医療センターも大学病院としての機能を有しつつ、特色ある医療をコンパクトに提供する医療機関として、昨年開院25周年を迎えることができましたが、これを支える教職員の精神として「ワン・チーム」の精神が伝統的に受け継がれています。医師、看護師をはじめ、様々な職種のコメディカル、事務職員が一体となって、日夜努力、精進を続けておりますが、安心・安全な「心が通い信頼される医療」をさらに提供していくためにも、この「ワン・チーム」の精神を大切に、さらによりよい医療センターを構築していく所存です。

今年はいよいよ「KICS（久留米地域医療包括システム）」が本格稼働する予定です。医療センターにおいても地域包括ケア病棟の開・増設などこれまで準備を進めておりましたが、今後も医療連携推進室が中心となり、地域の診療所や介護施設などの諸先生方と連携強化を図り、地域住民の皆様には「思いやりのある医療」を提供してまいります。

引き続き、皆様のご理解とご指導、ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

ご挨拶

看護部長 大塚 まり子



謹んで新年のお慶びを申し上げます。本年も久留米大学医療センターへのご指導、ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。今年は「庚子（かのえ・ね）」新しい運気のサイクルの始まり、「庚子」が表す意味は、新たな芽吹きと繁栄の始まりであると言われております。当院も2018年度から文学部情報社会学科との交流を始め「文医融合」による、様々な取り組みが行われています。今後も医療の視点だけではなく、異文化コミュニケーションを深め、新たなものを創造し地域の未来につなげていきたいと思っております。

また、これからの看護はあらゆる世代の人々に対して、どのような健康状態にあっても医療と生活の両方の視点での看護の提供が必要となってきます。85歳以上人口が著しく増加し、2015年を100とすると2035年の指標は202.7となると予想されています。入院患者さんも平均年齢が顕著に高くなり、高齢者の意思決定支援、知識、技術等を全看護師が習得できるようこれまで以上に教育を進めていきたいと思っております。そして、今年も患者さんが安心して元の生活に帰れるように職員全員で「心が通い、信頼される医療」を提供いたします。

「外来待合室等のほか、入院棟でも Wi-Fi が利用できるようになりました。」

当院では、2019年10月1日から外来待合室などで、同月28日から入院棟各階で、無線LANによるインターネット接続サービスが利用できるようになりました。利用方法等の詳細については、院内掲示板をご一読ください。



※注意事項

- ・Wi-Fiは時間制限・速度制限・ネットワークゲームやメールの送受信の利用制限等の制限を加えています。また音声を含む情報の再生はイヤホンを必ずお使い下さい。
- ・Wi-Fiは無料で利用頂けますが、インターネット上の有料サービス利用時は、利用者の負担となります。また接続などのサポートは一切ありません。



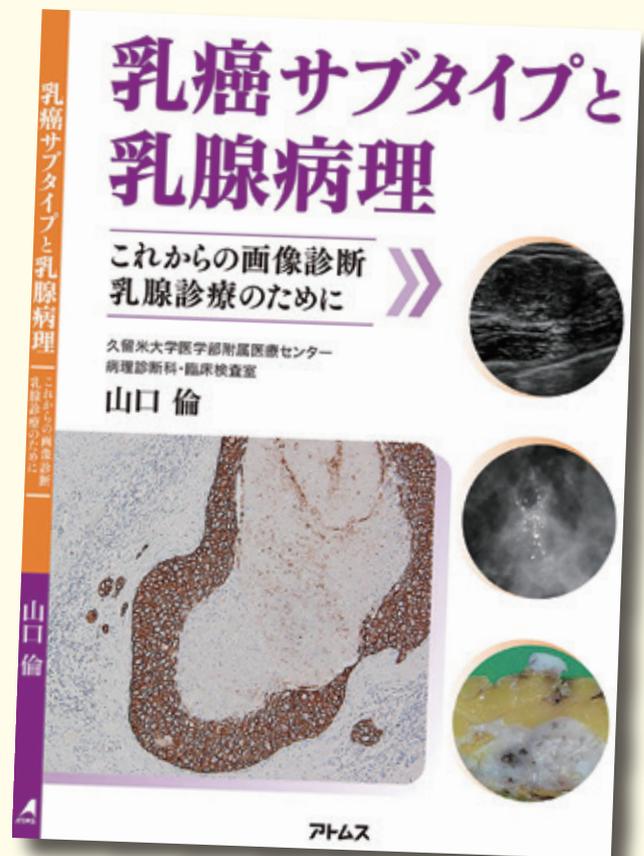
「乳癌サブタイプと乳腺病理 ～これからの画像診断、乳腺診療のために～」

著書 久留米大学医学部附属医療センター
病理診断科・臨床検査室 山口 倫
2019/7/25アトムス社より発刊。

内容紹介

推薦文より一部抜粋

昨今、乳癌はER, PR, HER2 などの免疫染色によって遺伝子解析パターンを代替したサブタイプ分類に基づいて治療が行われている。元来、病理診断は組織型分類を基本にしたものであるが、本書は通常の乳腺病理の本とは見方が異なり、各サブタイプにどのような組織型や組織像があるか、さらにサブタイプに分けて、特徴のある腫瘍形態や組織型のポイントを説明している。また、サブタイプが腫瘍形状をよく反映していることから、画像診断との関連にも言及した著書である。加えて、近年増加傾向にある乳管内病変のサブタイプの解説もなされており、その進展様式は乳癌の成り立ちから治療を考える上で、貴重な示唆を与えてくれるものと思われる。この点で従来みられた病理診断手順とは切り口を変えた非常に斬新な著書である。



医療安全管理対策委員会では、令和元年度の医療安全推進週間活動として「転倒予防標語」を職員から募集しました。11月11日から12月3日の期間、表彰作品を外来通路に展示して患者さんやご家族にご覧いただきました。親しみやすい標語を通じて、転倒予防に関心を持っていただき、患者さんの転倒が少しでも減ることを願っております。

病院長賞

れっつGO! いそいで杖を
あすれずに

四階西入院棟 看護師

洗面やお手洗い、リハビリに行く時などに、急いで「うっかり！」安全に歩行するための大事な「杖」をお忘れではありませんか？
外来での検査や診察の際も、お忘れのないようお気をつけ下さい。
令和の世も、患者さんの安全第一に職員一同、取り組んで参ります。

医療安全管理対策委員長賞

物落ちて

取ろうとしたら 我も落ち

感染対策室 看護師

「床に落ちた物を取ろうとして」患者さんがベッドやイスから転落されること、少なからず発生しております。頭を打撲されることもあり、とても心配です。
しっかりと起き上がり安定した体勢で取られるか、お手伝いが必要な時は、ご遠慮なく看護師をお呼び下さい。

リスクマネジメント部会長賞

スリッパで滑って

ひとりでカーリング

管理課 事務職員

スリッパやリンドル、クロックスは脱ぎ履きしやすいのですが、滑ったりバフスが濡れやすいなど、転倒の原因になっていきます。
入院中は、足にフイットし、かかとを履いて頂くと、お願ひしてあります。靴も、かかとを踏んでしまったらスリッパと同じ状態になるのでご注意ください。

看護部長賞

「転ぶかも…」
その危機感が 第一歩

手術室 看護師

高齢者に限らず、ミドルエイジの転倒が増えています（厚生労働省）。
転んでしまうと、思わぬ病状の悪化や入院期間の延長につながることもあります。人間は2本足で歩く生き物ですから、誰でも転ぶ可能性があるのです。「他人事」と思わず「自分の問題」として注意していただくことが、転倒予防の第一歩となります。

事務部長賞

筋トレと

お部屋の片付け 転倒予防

リハビリテーション科 事務員

転倒の原因は、17%ほどが「歩行やバランス障害（筋力低下）」、30%ほどは「コードや段差、物につまずくなど環境に関係」していると言われています。
転倒しないために、適度な運動と、床に物を置かないなど、整理整頓・後片付けをお願いします。

医療安全対策室賞

ほんのそこ

転ぶわけない みんな言う

三階東入院棟 看護師

入院中の安静度は、医師が患者さん一人ひとりの状態に照して決定しています。「ほんのそこまでだから」「これくらい大丈夫と思って」転倒された患者さんから、このような言葉を伺うことが多々あります。
看護師やリハビリスタッフは、安静度や注意点についてご説明しますので、守っていただきますようお願いいたします。

院内コンサートが開催されました

令和元年12月7日(土)に、久留米大学医療センタースタッフ有志による院内クリスマスコンサートがエントランスホールにて開催されました。

今年も多くのお客様やそのご家族の方でホールがいっぱいになりました。およそ1時間30分にわたり定番のクリスマスソングや「パプリカ」「ふるさと」「ヤングマン」などを披露いたしました。

集まり頂いた患者さん、ご家族の皆様に厚く御礼申し上げます。

また、お忙しい中、準備や片付けなどのボランティアとして参加して下さいました方々、ご協力頂いた皆様に心より感謝いたします。



会場の様子

新任医師紹介

令和元年10月より下記診療科にて、医師が新しく赴任しましたのでお知らせいたします。

何卒よろしくお願い申し上げます。



イノウエ ユイ
氏名：井上 由衣

役職：助教
診療科：麻酔科

「チャレンジ!レシピコンクール」入賞!!

2019年11月10日に中村学園大学で開催された令和元年度「チャレンジ!レシピコンクール」(主催：福岡県、公益社団法人福岡県栄養士会、ふくおか健康づくり県民会議)最終審査において、応募総数86件の中からフレイル予防部門で当院の栄養室チーム(後藤真美ほか1名)が第1位になりました。

受賞したレシピなど、詳細は次号にてご紹介いたします。

外来診療一覽

診療科名	月	火	水	木	金
総合診療科	向原圭 茂木恒 川口勝 黒岩望	向原圭 茂木恒 (第1・2) 川口勝輝	向原圭 川口勝 黒岩望	向原圭 茂木恒 黒岩望	向原圭 茂木恒 (第3・4) 川口勝輝 黒岩望
プライマリ・ケア	内田信治	内田信治		内田信治 (乳腺外来) 弥永浩 (第1・3のみ予約制)	
消化器内科	堀まいさ 東恵理子	緒方啓	吉村哲広 東恵理子	消化器内科担当 藤田博正	緒方啓 堀まいさ
循環器内科 (睡眠時無呼吸外来) (脂質異常症外来)	甲斐久史 加藤宏司 佐々木基起	甲斐久史 新山寛 翁徳仁	甲斐久史 加藤宏司 松島慶央	新山寛 徳仁 佐々木基起	加藤宏司 翁徳仁 松島慶央
禁煙外来 月・火 (予約制)	甲斐久史 (午後)	甲斐久史 (午後)			
糖尿病センター	田尻祐司	田尻祐司 本村誠一	本村誠一 非常勤医	田尻祐司 加藤智子 (甲状腺外来) 廣松雄治	本村誠一
リウマチ・ 膠原病センター	中島宗敏 山崎聡士 矢野真弓	中島宗敏 山崎聡士	鮎川竜祐 (再診のみ)	山崎聡士 若杉大輔 松田光太郎	中島宗敏 若杉大輔 原田裕美
小児科	大津寧 升永憲治 田中聡子(午前)	大津寧 山口紀子 牛島高介 (午前・完全予約制)	大津寧 升永憲治	升永憲治 田中聡子(午前)	大津寧 田中征治 (第2午後)
(専門外来)					小児成人病
精神科	非常勤医			非常勤医 (もの忘れ外来・初診)	非常勤医
先進漢方治療センター (午前)	(漢方精神科・内科) 恵紙英昭(予約制)	(漢方精神科・内科・産婦人科) 恵紙英昭(予約制) 駒井幹 (漢方小児科) 田中聡子	(女性外来・漢方内科・循環器科) 上松章子	(漢方内科) 薬師寺和昭	(漢方精神科・内科) 恵紙英昭(予約制)
(午後)	(漢方精神科・内科) 恵紙英昭(予約制) 沈龍佑(予約制) (漢方小児科) 田中聡子	(漢方精神科・内科) 恵紙英昭(予約制) (漢方小児科) 田中聡子	(漢方精神科・フクロウ外来) 恵紙英昭・田中聡子 (予約制) (漢方皮膚科) 第3・5予約制 清川千枝 (恵紙英昭)	(女性外来・漢方内科) 亀尾順子 (漢方小児科) 田中聡子	(漢方泌尿器科) 黒川慎一郎 (第1・3のみ完全予約制)
整形外科・ 関節外科センター (午前)	大川孝浩 久米慎一郎 田淵幸祐 原口敏昭 木内正太郎	後藤昌史 中村秀裕 中村洋輔 江島健一郎	大川孝浩 中村秀裕 本多弘一 原口敏昭 山木宏道	野口幸志 田淵幸祐 木内正太郎 山下明浩 鈴木康一(予約制)	後藤昌史 久米慎一郎 野口幸志 本多弘一 中村洋輔
(午後) (予約再診)		樋口富士男 (予約再診のみ)	大川孝浩 (第1・3のみ予約制)	野口幸志 田淵幸祐 木内正太郎 稗田寛 (第2・予約制)	
リハビリテーション科	名護健	荻野美佐	柳次郎(第1) 馬場敦子(第2・4) 大本将之(第3・5)	大本将之	押領司夏奈
皮膚科	橋川恵子	橋川恵子		橋川恵子	橋川恵子
泌尿器科			野口正典		
眼科	非常勤医 午前のみ(完全予約制)			非常勤医 午前のみ(完全予約制)	
足病変(フットケア)・ 皮膚潰瘍治療外来	井野康 神戸優子	神戸優子	井野康 神戸優子午前のみ	井野康 神戸優子	井野康
放射線科	非常勤医 (午前) 内田政史 (午後)	内田政史	非常勤医	内田政史	内田政史
病理診断科 (乳腺病理セカンドオピニオン外来) がんワクチン外来 (午前)	山口倫 午後のみ(完全予約制)		山口倫 午後のみ(完全予約制)		山口倫 午後のみ(完全予約制)
(午後)		由谷茂	伊東恭悟 由谷茂	織田慶子	由谷茂 吉山康一 由谷茂
		野口正典 由谷茂	伊東恭悟 由谷茂 末金茂高 河野光一郎 唐宇飛(隔週) 高尾優子	織田慶子	由谷茂

受付時間：午前8時30分～午前11時 診療日：月～金 麻酔科：術前診療のみ(予約制) 休診日：土・日・祭日・年末年始・盆休(8/15)

編集後記

新年あけましておめでとうございます。
 昨年本院は開設25周年を迎えました。これも地域の皆様、医療機関の皆様からのご指導・ご鞭撻の賜物と感謝いたしております。これを記念して「開設25周年記念誌 令和元年」を発行いたしました。一方で昨年9月発行予定でした第42号が遅延しましたことをお詫び申し上げます。
 医療センター広報誌は2020年度から「よか音(ね)」(予定)とタイトルを変え、内容もリニューアルされます。新しい広報誌もこれまで同様、皆様のご愛顧賜りますようお願い申し上げます。